

# **PALTEK**

## **(JASDAQ:7587)**

**2015年12月期 第1四半期  
決算説明資料**

**2015.5.8 (金)**

FY2015 Q1 Results Reporting

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

## **アジェンダ**

- ① 2015年12月期 第1四半期  
業績結果**
- ② 2015年12月期 業績予想**

1

## 2015年12月期 第1四半期 業績結果



## 連結業績結果

(百万円)	2014年第1四半期		2015年第1四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	5,533	100.0%	6,508	100.0%	975	17.6%
売上総利益	817	14.8%	1,145	17.6%	328	40.2%
販管費	623	11.3%	686	10.5%	63	10.1%
営業利益	193	3.5%	459	7.1%	265	136.7%
経常利益	191	3.5%	450	6.9%	258	134.8%
四半期純利益	113	2.0%	290	4.5%	176	155.9%
1株当たり四半期純利益	9.93円	—	25.89円	—	15.96円	160.7%

### 主な増減要因

- 売上高は、半導体事業が大幅に増加
- 売上総利益の増加は、ドル円相場が円安基調に推移しているため、仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額が増加したこと、売上高が増加したことによる
- 販管費の増加は、主に人員が増加したことによる

(百万円)	2014年第1四半期		2015年第1四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
半 導 体	5,095	92.1%	6,001	92.2%	906	17.8%
デ ザ イ ン サ ー ビ ス	400	7.2%	449	6.9%	49	12.3%
そ の 他	37	0.7%	57	0.9%	19	53.8%
売 上 高 合 計	5,533	100.0%	6,508	100.0%	975	17.6%

### 主な増減要因

- 半導体事業は、通信インフラ、医療機器向け等が増加
- デザインサービス事業は、医療分野、航空/宇宙分野が堅調

## ■ 売上総利益率の上昇は、以下の要因による

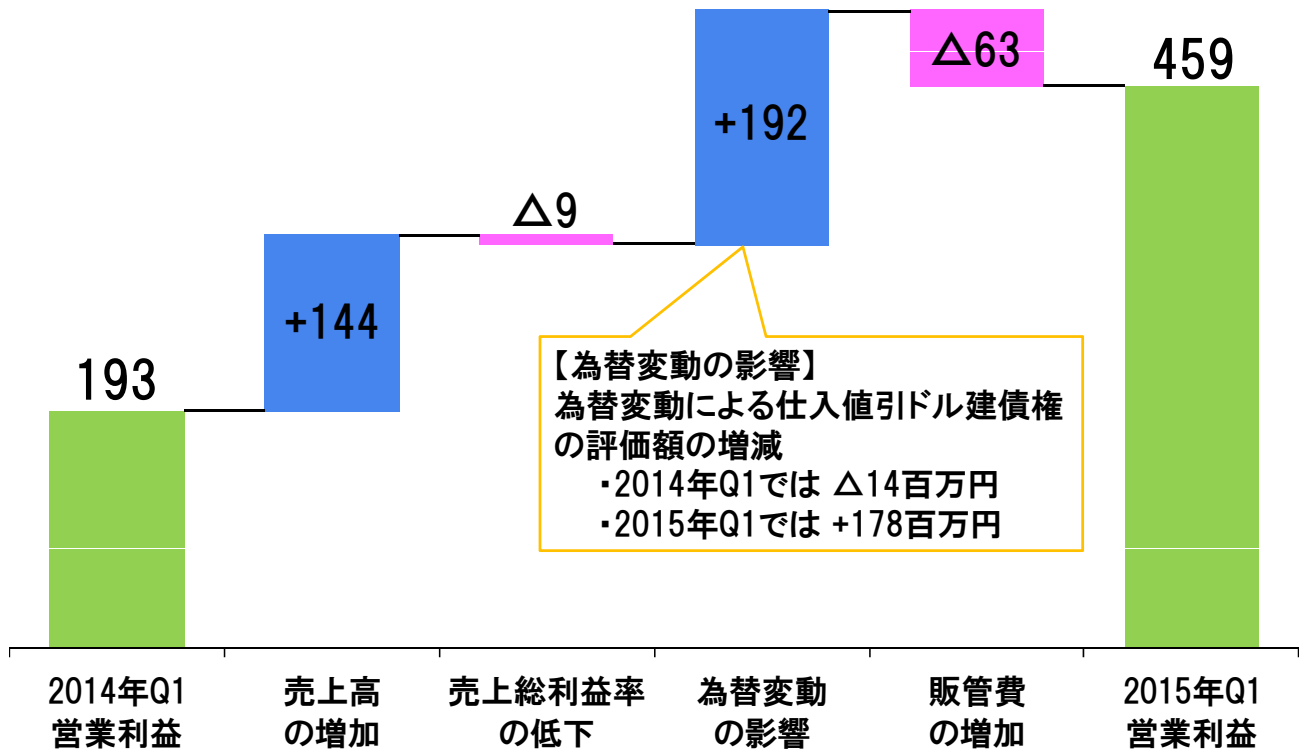
- ・ 仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額の増減が、ドル円相場の変動により前年同期では△14百万円であったが、当四半期では+178百万円となった

(※仕入値引ドル建債権の説明は、本資料の参考資料に記載)

(百万円)	2014年第1四半期		2015年第1四半期	
	金額	対売上比率	金額	対売上比率
売 上 総 利 益	817	14.8%	1,145	17.6%
(うち為替の影響額)	△14	△0.3%	178	2.7%
売 上 総 利 益 (為替の影響を排除)	831	15.0%	967	14.9%

# 営業利益の増減分析

(単位:百万円)



【為替変動の影響】  
 為替変動による仕入値引ドル建債権の評価額の増減  
 ・2014年Q1では  $\Delta 14$ 百万円  
 ・2015年Q1では  $+178$ 百万円

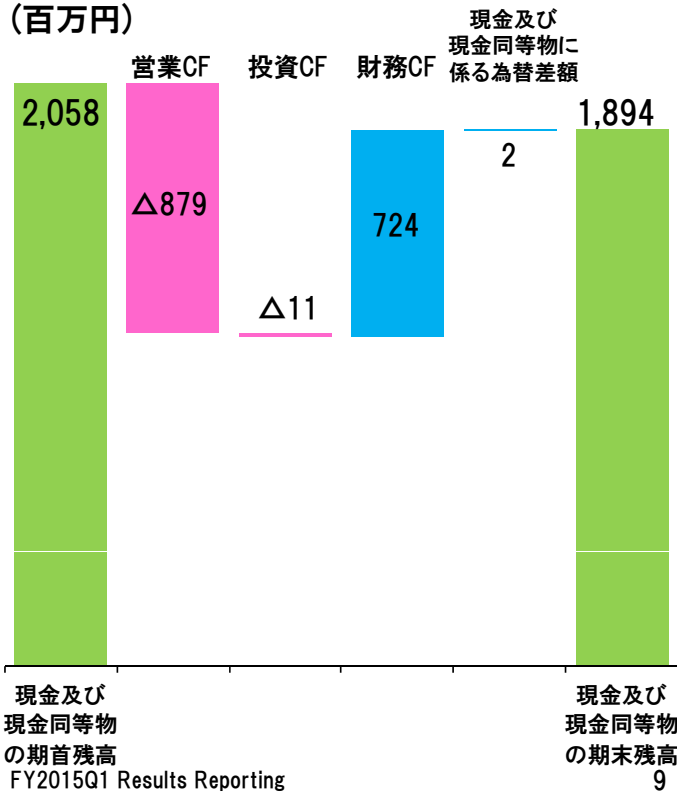
# 連結貸借対照表の状況

(百万円)		2014.12末	2015.3末	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	2,058	1,894	$\Delta 164$	
	売上債権	4,496	5,029	532	売上高が増加したため
	商品	3,139	3,482	343	売上水準が拡大しているため
	その他流動資産	1,765	2,117	351	未収入金が増加したため
	固定資産	577	576	$\Delta 1$	
資産合計		12,037	13,099	1,062	
負債純資産内訳	仕入債務	784	1,117	333	売上水準拡大に伴い仕入れを増加させたため
	短期借入金	780	1,880	1,100	在庫や売上債権の増加に対応するため
	その他流動負債	1,398	1,116	$\Delta 281$	
	固定負債	325	323	$\Delta 2$	
	純資産	8,748	8,662	$\Delta 86$	
負債・純資産合計		12,037	13,099	1,062	



# 連結キャッシュ・フローの状況

## 2015年第1四半期のキャッシュフローの動き (百万円)



(百万円)	2014年第1四半期	2015年第1四半期
現金及び現金同等物の期首残高	1,198	2,058
営業CF	534	△879
投資CF	△5	△11
財務CF	256	724
現金及び現金同等物の期末残高	1,989	1,894

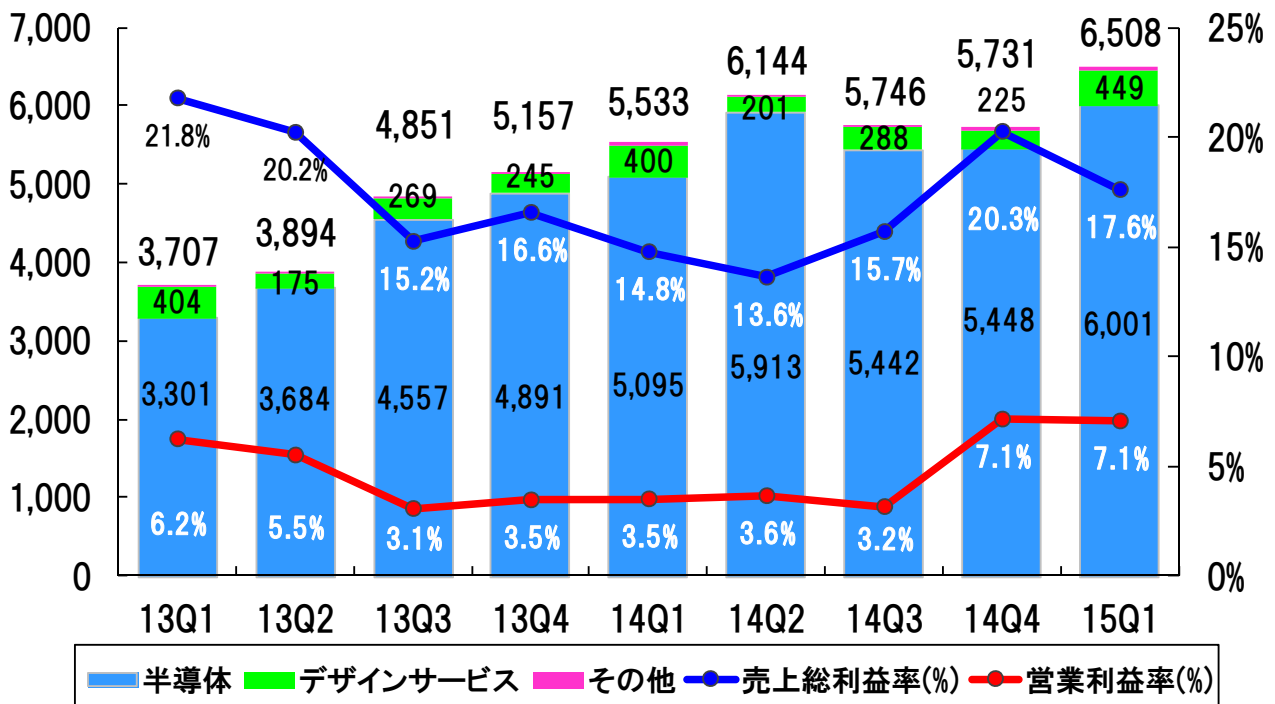
### 2015年第1四半期のキャッシュフローの動き

- 営業CF: 税金等調整前四半期純利益を計上し、仕入債務が増加した一方で、売上債権、たな卸資産、未収入金が増加したこと、法人税等の支払い等により支出
- 投資CF: 有形固定資産及び無形固定資産の取得、貸付け等により支出
- 財務CF: 借入れの実施等により収入



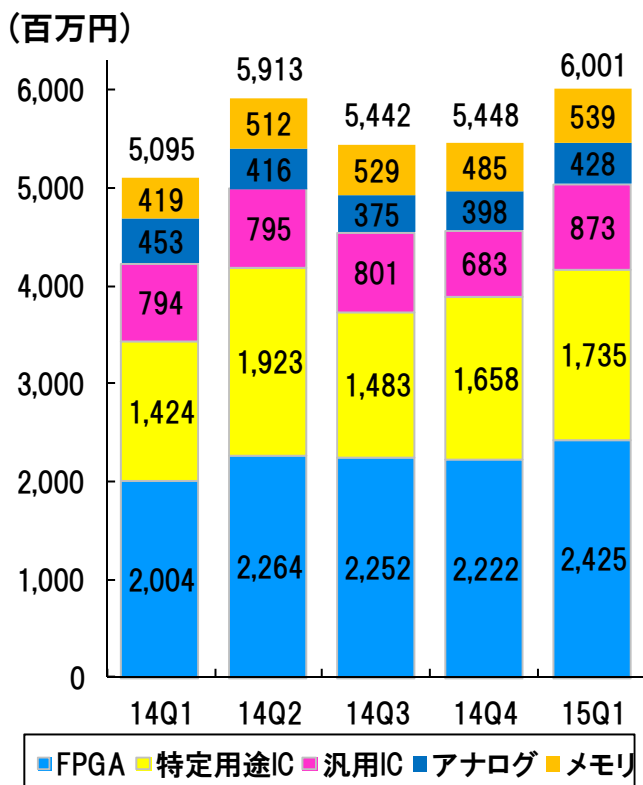
# 連結業績の四半期推移

(百万円)



# 事業別の実績

## **PALTEK** 半導体事業の状況（製品別）



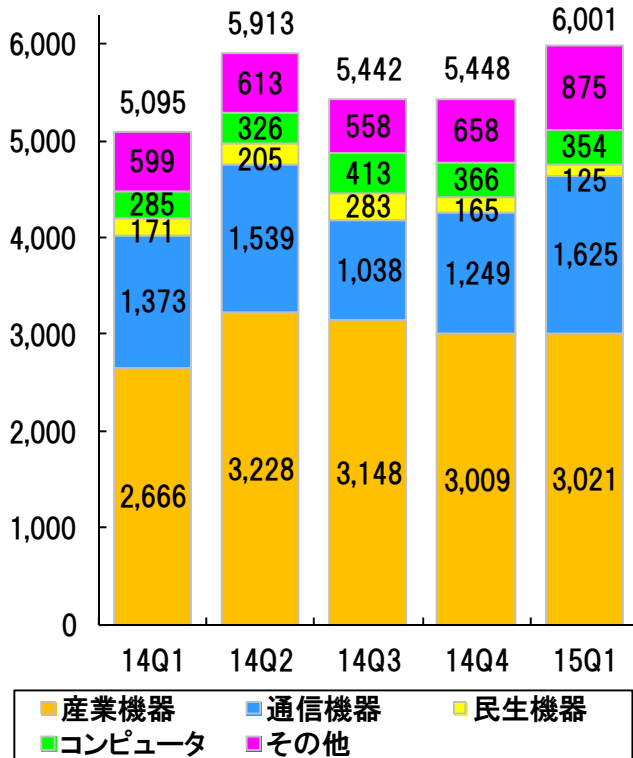
### 四半期業績の推移

- **FPGA**  
通信インフラ、医療機器向けが堅調
- **特定用途IC**  
ブロードバンド通信機器向けが堅調
- **汎用IC**  
オフィス機器向けが堅調
- **アナログ**  
医療機器、ファクトリオートメーション向けが堅調
- **メモリ**  
民生機器、医療機器向けが堅調



## 半導体事業の状況（用途別）

(百万円)



FY2015Q1 Results Reporting

13

### 四半期業績の推移

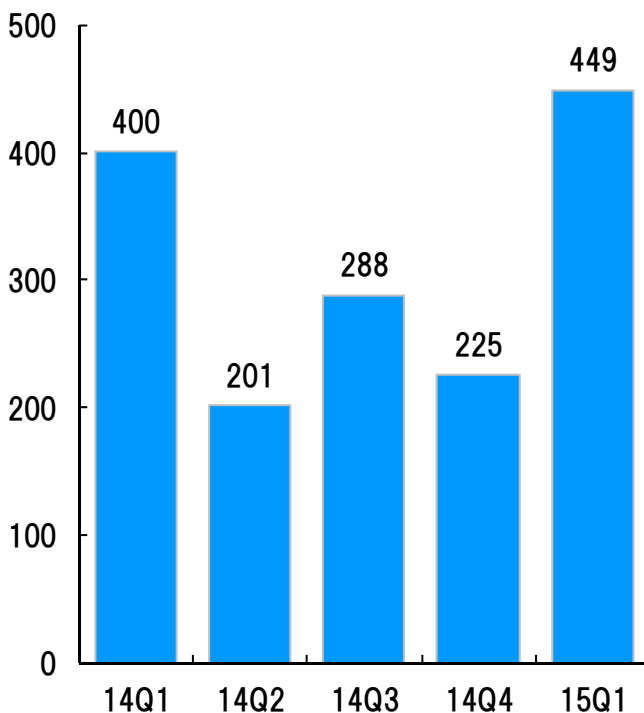
- 産業機器  
医療機器、オフィス機器、計測機器向けが堅調
- 通信機器  
通信インフラ、ブロードバンド通信向けが堅調

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.



## デザインサービス事業の状況

(百万円)



FY2015Q1 Results Reporting

14

### 四半期業績の推移

- 医療機器、産業機器、航空/宇宙分野向けが堅調

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

# 事業の進捗状況

FY2015 Q1 Results Reporting

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

## FPGA事業の拡大

---

### ■ 大手・中堅企業新規顧客の拡大

- 名古屋営業所の開設
  - 中京地区の大手顧客取引開始
  - 新規顧客拡大

### ■ FPGA＋電源ソリューション：営業/提案力の強化

- 営業/技術のサポート人員増強
- 大手顧客移管による早期立上げ

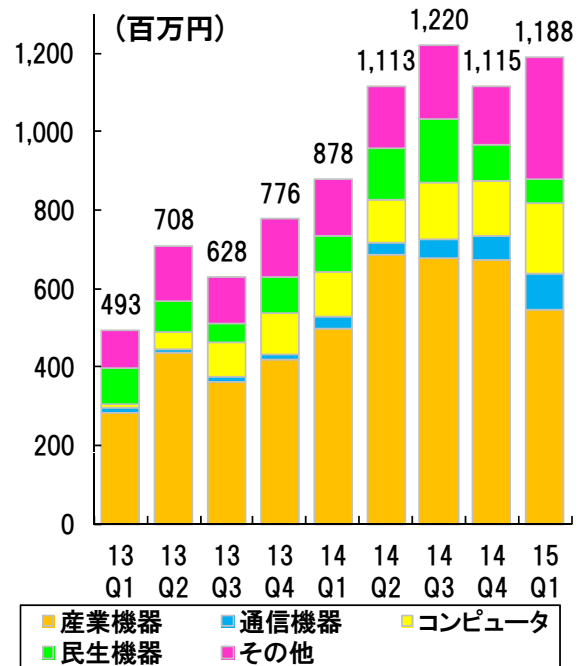


## ■ 第2の柱となる製品は堅調に推移

- ・ ファクトリーオートメーション
- ・ 医療機器



主要4製品の売上推移



## ■ 赤外線カメラのリーディングカンパニー

### フリーシステムズ社のセンサ製品の販売開始



FLIR ONE  
(iPhone5/5S用  
赤外線カメラ製品)



Lepton  
(世界最小クラス  
赤外線カメラコア)



Tau2  
(赤外線カメラコア)

## ■ フリーシステムズ社について

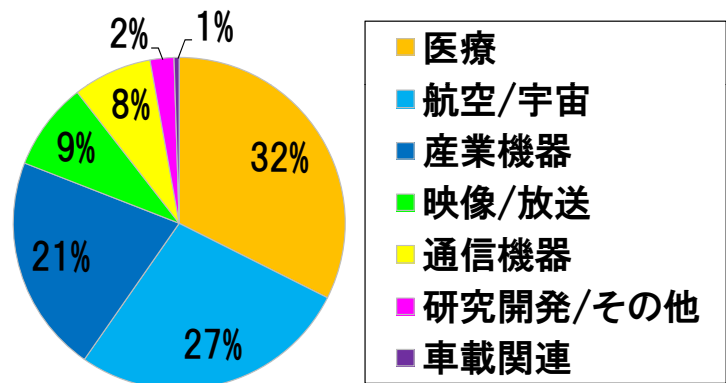
- ・ 所在地: 米国オレゴン州
- ・ 設立: 1978年、従業員: 2,750名
- ・ 事業内容: 赤外線カメラ設計、製造、販売
- ・ 市販赤外線カメラ業界のパイオニア。30年以上にわたり学術、産業、法政、軍事分野にサーモグラフィや暗視装置を供給

<セキュリティ> <エネルギー効率化>



## ■ 医療分野のほか、航空/宇宙分野産業機器分野での売上が拡大

2015年第1四半期での用途別売上構成



## ■ 自社製品の状況

- ・ 4K対応H.265コーデック装置:海外において販売
- ・ H.264小型ライブ中継伝送装置:顧客で評価検証を実施中

## ■ 自己株式の取得

- ・ 目的 :機動的な資本政策の遂行に備えるため
- ・ 取得株式数 :464,600株(発行済株式数に対する割合 3.92%)
- ・ 取得価額の総額 :282,143,200円
- ・ 取得期間 :2015年2月13日～2015年3月24日

## ■ コミットメントライン契約の締結

- ・ 目的 :安定的な資金調達枠の確保に伴う財務構造の安定を図るため
- ・ 契約総額 :50億円 (契約期間内において、6ヶ月毎に最大100億円まで総コミット金額の増額が可能)
- ・ 契約期間 :2015年3月25日から3年間
- ・ 主幹事金融機関 :三井住友銀行
- ・ 参加金融機関 :三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、横浜銀行

## 2

# 2015年12月期 業績見通し

## 2015年12月期 業績見通しについて

### 2015年4月9日に業績予想を修正

#### ■ 第2四半期(累計)の見通し

- 通信インフラ向けのFPGA及びブロードバンド通信機器向け特定用途IC等が堅調に推移することが予想されるため売上高は増加
- 第1四半期において、当社が仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額の増加を含む為替レート変動による影響が+178百万円発生したため、利益は増加

#### ■ 通期の見通し

- 下期において、主要取扱製品であるFPGAを販売できるお客様が増加することが一部確定したため、当初業績予想を上回る見通し



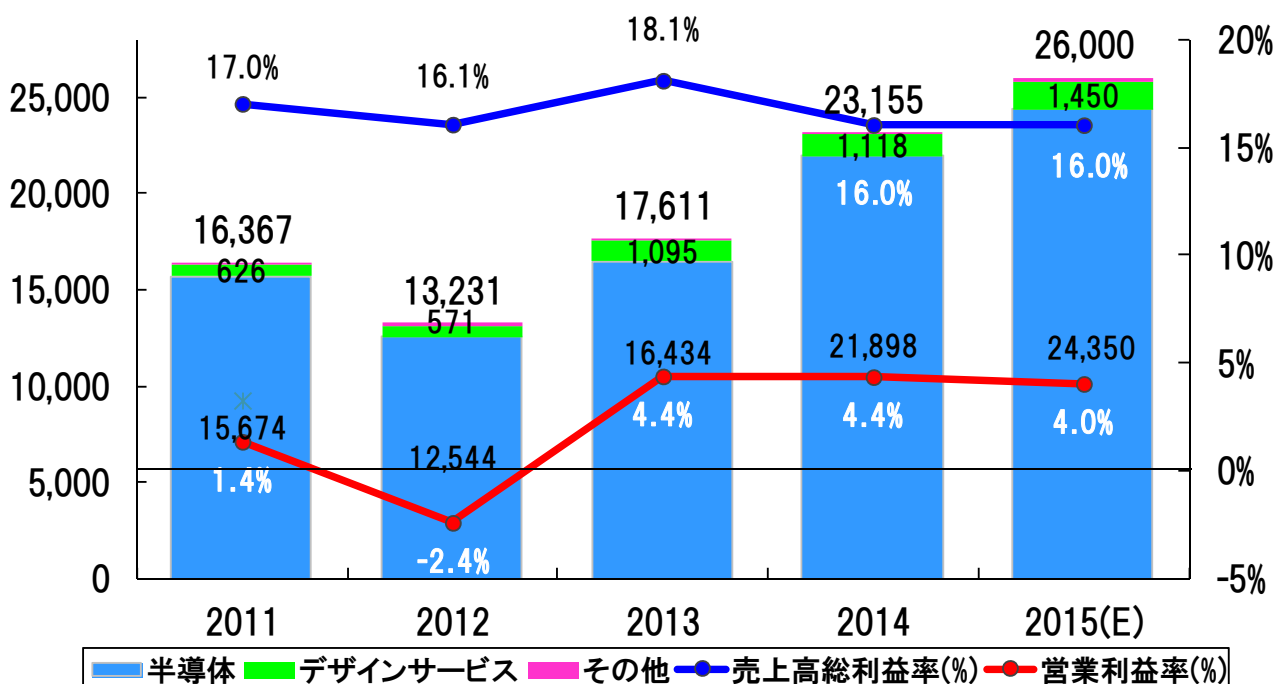
# 2015年12月期 業績予想の修正

(百万円)	当初予想(2/12)			修正予想(4/9)			上期増減		通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	11,700	12,800	24,500	12,500	13,500	26,000	800	6.8%	1,500	6.1%
売上総利益	1,900	2,100	4,000	2,020	2,150	4,170	120	6.3%	170	4.3%
売上総利益率	16.2%	16.4%	16.3%	16.2%	15.9%	16.0%	—	—	—	—
販管費	1,550	1,650	3,200	1,470	1,650	3,120	△80	△5.2%	△80	△2.5%
営業利益	350	450	800	550	500	1,050	200	57.1%	250	31.3%
営業利益率	3.0%	3.5%	3.3%	4.4%	3.7%	4.0%	—	—	—	—
経常利益	360	430	790	530	480	1,010	170	47.2%	220	27.8%
当期純利益	230	270	500	325	300	625	95	41.3%	125	25.0%



## 業績見通しの推移(連結)

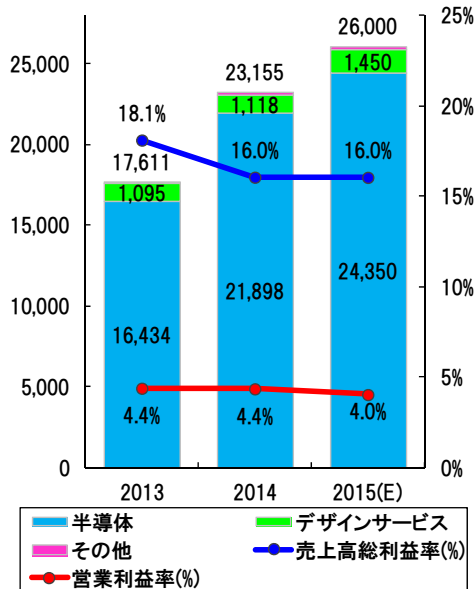
(単位:百万円)



## 為替の影響を除いた場合の業績予想比較

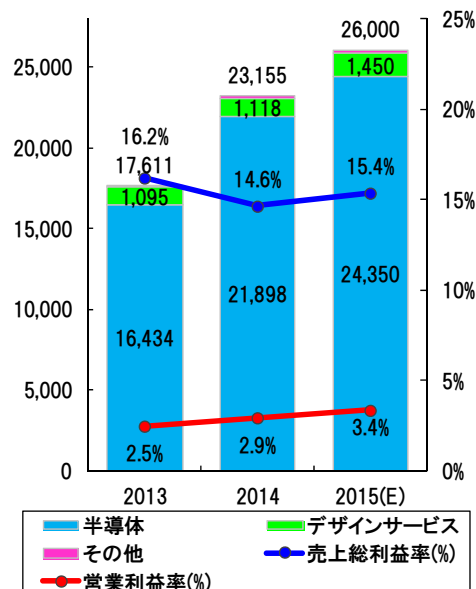
- 2013年、2014年では、円安進行により仕入値引ドル建債権の評価額が増加し、原価を押し下げた。2015年第1四半期でも同債権の評価は増加した。
- この評価額の増加を含む為替の利益に与える影響を排除した場合、2015年12月期については実力値ベースでは増益となる

為替の影響を除かない場合



FY2015Q1 Results Reporting

為替の影響を除いた場合



25

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

## IRの窓口

以下の担当までお問い合わせ下さい。

柴崎 由記 (総務グループ IR担当)

株式会社PALTEK

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL : 045-477-2016

FAX : 045-477-2012

E-mail : ir@paltek.co.jp

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

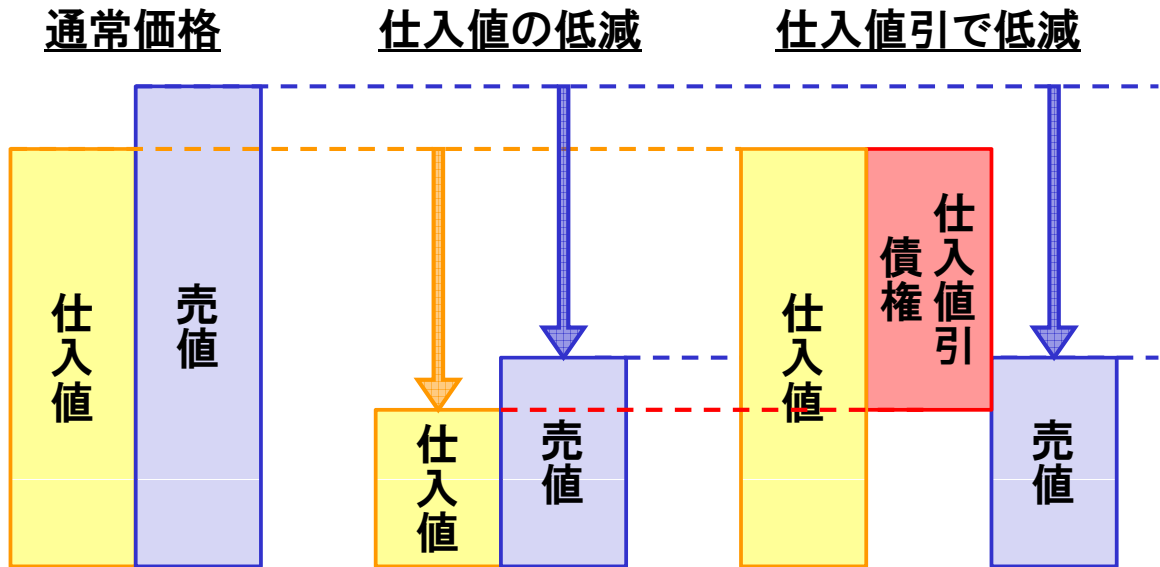
## 参 考 資 料

(百万円)	2015年12月期 当初予想 (2/12)			2015年12月期 修正予想 (4/9)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
半導体	10,870	11,980	22,850	11,670	12,680	24,350
FPGA	4,500	5,500	10,000	4,750	6,200	10,950
特定用途IC	3,200	3,100	6,300	3,500	3,100	6,600
汎用IC	1,320	1,400	2,720	1,520	1,400	2,920
アナログ	850	980	1,830	900	980	1,880
メモリ	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	2,000
デザインサービス	750	700	1,450	750	700	1,450
その他	80	120	200	80	120	200
売上高合計	11,700	12,800	24,500	12,500	13,500	26,000
営業利益	350	450	800	550	500	1,050

- 仕入値引債権とは
- 仕入値引債権の評価額変動リスク
- 調達在庫のレート変動リスク
- 決済時ドル調達レート変動リスク

## 仕入値引債権とは

- 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
- その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
- その実現方法には、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」の2パターンがある



FY2015Q1 Results Reporting

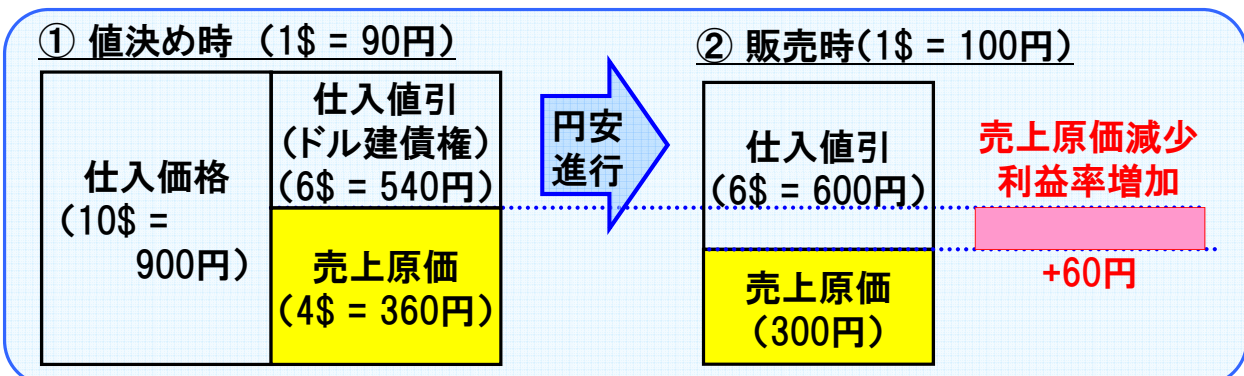
31

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.

## 仕入値引債権の評価額変動リスク

- ① 値決め : 量産案件では、標準仕入価格を下回る特別価格を適用することがある
- ② 販売 : 販売時に仕入値引(ドル建債権)を受け取る。値決め時よりも円安が進行している場合、仕入値引のドル建債権の評価額が増加

**売上原価減少 → 利益率増加**



FY2015Q1 Results Reporting

32

© 2015 PALTEK Corporation. All rights reserved.



**売上原価増加 → 利益率減少**

① 値決め時 (1\$ = 90円)

利益 (2\$ = 180円)	売値 (10\$ = 900円)
売上原価 (8\$ = 720円)	

円安  
進行

② 仕入⇒販売時(1\$ = 100円)

利益 100円
売上原価 (8\$=800円)

売上原価増加  
利益率減少

-80円

① 仕入時 (1\$ = 90円)

仕入 (8\$ = 720円)
--------------------

円安  
進行

② 販売・支払時(1\$ = 100円)

仕入値引債権 (6\$=600円)
----------------------

支払対象額  
(2\$=120円)

CASH  
(2\$=200円)

決済差額

-80円

開示区分	内容説明
半導体事業	半導体及び関連製品の販売、技術支援
FPGA	ザイリンクス社のFPGAを中心とするソリューション
特定用途IC	特定用途に特化した半導体を中心とするソリューション (例:通信向け、インタフェース向け、携帯端末向け等)
汎用IC	NXPセミコンダクターズ、マイクロチップテクノロジー社等の汎用ICを中心とするソリューション
アナログ	リニアテクノロジー社等のアナログ半導体を中心とするソリューション
メモリ	マイクロンテクノロジー社等のメモリを中心とするソリューション
デザインサービス事業	受託開発、ODM/EMS/OEM、自社製品の販売
その他	上記のカテゴリに属さないソリューション